



広報

No.277

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口

(平成7年1月末現在)

世帯数	8,793世帯
人口	28,212人
男	14,375人
女	13,837人

1月の人口移動

出生	33件	死亡	13件
転入	106件	転出	67件
婚姻	14件	離婚	4件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

今月の主な内容

- 受章(賞) 祝賀会
- 町森林保全整備計画を答申
- 町長と語る集い ～町女団協～
- 町青少協が緊急役員会を開催
- 阪神大震災の義援金を日赤に贈呈
- お知らせ でーびる

ミルク神への誕生報告

—— 棚原の年中行事 ——

子どもたちの誕生をミルク神へ報告する「ミルクガナシースウマリトウイタティ」がミルク神の誕生日(旧暦12月20日)にあたる1月20日、棚原ノロ殿内で行われました。

この行事は、毎年棚部落で行われており、今年も部落の長老宮里善徳さんらが、昨年のミルク神の誕生日以降に生まれた27人の子どもたちの誕生を報告し、健康を祈願しました。

報告・祈願の後、伊波時男区長から「次代を担う子どもたちがすくすく成長することは、部落の発展にもつながります。皆さん頑張って下さい」と激励しました。

また、屋号での自己紹介も行われ、普段言い慣れない屋号に戸惑う若いお母さんたちの姿につられ、周囲から笑いが起こり、ノロ殿内は和やかな雰囲気になりました。

子どもたちには、お祝いに紅マンジュウやくだものが配られました。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

町民の誇り四氏の受賞を祝う

おめでとうございます

町受章(賞)祝賀会

四氏とも大臣賞を受賞

西原町(平安恒政町長)では、一月三十一日午後七時、町中央公民館で、受章(賞)祝賀会を開催し、国レベルでの受章(賞)者の祝福と功績を称えました。

受章(賞)者は、平良清仁氏(総理大臣藍綬褒章受章)、安里昌男氏(教育者文部大臣賞受章)、上亀直一氏(社会教

育功労文部大臣賞受章)、佐藤栄二君(障害児童絵画入賞労働大臣賞受章)の四氏。

受章(賞)祝賀会では、稲福恭助町教育長による開会あいさつ後、平安町長が主催者あいさつしました。あいさつの中で平安町長は各氏の経歴と功労を述べ、「今後ともそれぞれの分野で益々のご活躍を」と激励しました。引き続き、富春治町議会議長の祝辞と、各氏の受章(賞)者あいさつがありました。

平良清仁氏は受賞式での待ち時間の長さや出された食事などのエピソードを披露、安里昌男氏は「受賞は素

晴らしい先生、友人たちと妻のおかげ。受賞を励みとし、これからも頑張ります」、上亀直一氏は「今後とも青少年の健全育成など地域のため役立ちたい」、佐藤栄二君は「今日はあるがとうございます。これからも頑張ります」とそれぞれ受賞のあいさつを述べました。

受賞者たちへの花束贈呈に引き続き懇親会がもたれ、各自自治会や関係団体有志による余興が披露される中、関係者約二百人が受章(賞)の喜びを分かち合っていました。



〈祝賀会での受賞者たち〉

◀平安町長から「それぞれの分野で今後も益々のご活躍を」と激励される受賞者のみなさん。

《受賞者紹介》

平良 清仁さん

弁護士(字兼久17番地)

- 22年余にわたり人権擁護委員として、地域住民の人権擁護と生活を守り続けた。

(写真左が清仁さん。

右は妻の恵美子さん。)



教育者文部大臣賞受賞

安里 昌男さん

現県立開邦高校第三代校長
(字与那城317番地の1)

- 県立宜野湾高校の基礎作りや、県教育庁高等学校教育課長等など県教育振興に多大に貢献した。

(写真左が昌男さん。

右は妻の光子さん。)



上亀 直一さん

(字小波津233番地の104)

- 青少年の健全育成に精力的な活動を展開、社会教育の振興に大きく貢献した。

(写真は祝賀会で受賞者スピーチをする直一さん。)



社会教育功労文部大臣賞受賞

佐藤 栄二さん

鏡ガ丘養護学校2年。

(字与那城219番地の5)

- 全国障害児童生徒絵画展で全国三千余りの中から、県内初の労働大臣賞を受賞した。

(写真左が栄二さん。

右はお父さんの光政さん。)



障害児童絵画入賞労働大臣賞受賞

緑の多い“まちづくり”を

町森林保全整備計画を答申

町森林保全調査整備計画策定委員会（幸喜善福委員長）は、一月二十三日午後、町長室で、同計画の答申を行いました。

同計画は、『町第二次総合計画』にうたわれている「明るい住みよい平和なまちづくり」の重要施策である「自然環境の保全」のうち、森林の保全・整備を主として検討したもので、全部で三章から構成されています。

幸喜委員長と外間現誠副委



平安町長(左)に『町森林保全整備計画』を答申する幸喜委員長(中)と外間副委員長(右)

まじゅん 語ていんだな “文教のまち”

町女性団体連絡協議会（長崎ノブ子会長）は、二月六日午後、西原共同福祉施設で、『町長と語る集い』を開催しました。

これは、行政に対し、女性の感性を活かした意見や要望等を述べ、「文教のまち西原」に向け

町女団協、町長と大いに語る

町女性団体連

絡協議会（長崎

ノブ子会長）は、

二月六日午後、

西原共同福祉施

設で、『町長と語

る集い』を開催

しました。

これは、行政

に対し、女性の

感性を活かした

意見や要望等を

述べ、「文教のま

ち西原」に向け

同計画では、本町の地形的特徴を分析し、緑のうち特に森林・原野の現状を把握した上で、道路や公共施設等の緑化について触れながら、今後それらをどのように保全・整備するかを検討しています。

幸喜委員長は「かなり内容の濃い話し合いで、各委員からきいたのない意見を出してもらいました。緑の保全については、住民の意識の高揚が必要だ」と述べていました。

町女性団体連絡協議会（長崎ノブ子会長）は、二月六日午後、西原共同福祉施設で、『町長と語る集い』を開催しました。

これは、行政に対し、女性の感性を活かした意見や要望等を述べ、「文教のまち西原」に向け

女性職員による まちづくりの集い

女性の感性・視点をまちづくり、職場環境づくりに活か



「女性職員によるまちづくりの集い」のもよう

そうすると、「女性職員によるまちづくりの集い」が、一月十九日午後、町役場二階大会議室で開かれました。

町の女性職員四十余人余りが参加して、平安恒政町長らに意見要望を述べました。

平安町長は「財政状況等を勘案しながら、年次的に整備していきたい。明るい職場づくりや住民サービスの充実に向けた提言・要望があればどんどん活かし、『文教のまちづくり』をしていきたい」と述べました。

児童館の内容充実、下水道計画について、古井戸の活用、町クリーン指導員未実施地域への早期委嘱、阪神大震災被災地への協力、女性模擬町議会の開催などハード・ソフト両面にわたるさまざまな意見要望が出され、活発な討論が交わされました。

平安恒政町長は「提起された意見・要望等はいずれも重要な問題。今後、財政状況等もみながら、行政で対応できるものは対応していきたい」と述べるとともに、「クリーングリーン運動など地域や各種



「町長と語る集い」のもよう

これまでの活動の意義をふりかえる

——学推協が結成十周年——

『豊かな感情と確かな学力を形成するには、地域ぐるみの活動をどのようにすすめるか』を研究主題に、実践研究を重ねてきた『西原町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会(学推協)』の平成六年度(第十年次)町学推協実践研究発表会が、二月三日午後、西原小学校で開催されました。』

関係者約二百人が参加する中、與那嶺浩会長(代読)は

「本協議会は結成以来今日まで、学校部会各学校、地域部会各支部において、ともに組織的、継続的な実践研究活動により、大きな成果をおさめるようになりました」と、こ

れまでの活動の意義を評価しました。

引き続き、稲福恭助町教育長、平安恒政町長があいさつし、同協議会のこれまでの取り組みの成果への評価とこれから果たす役割の重要性について触れ、激励しました。

その後、田港朝勝学推協事務局長が、研究経過と概要について報告し、児童の意見発表や幼稚園部会、小学校部会、中学校部会、地域部会から実践発表がおこなわれました。

また、質疑応答では、実践活動の成果や取り組みについての具体的な質問がでるなど活発な討論がありました。

なお、発表者は次の通り(敬称略)。



OHP(オーバー・ヘッド・プロジェクター)を使っての実践発表の模様

商工業の活性化で町づくりを

——初の町商工業振興懇談会を開催——



商工業の活性化を軸とした町づくりについて活発な意見交換が行われた町商工業振興懇談会

町づくりは商工業の活性化からと、二月十三日午後、西原共同福祉施設で、町商工業振興懇談会が開催されました。

これは、町内の事業所が情報交換をしながら、商工業の

原小学校六年生

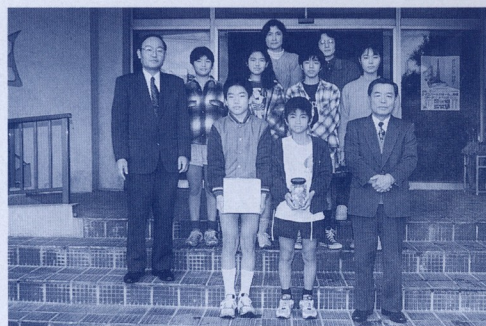


春の全国火災予防運動
(3月1~7日)

活性化を軸とした町づくりについて話し会おうというもので、町(平安恒政町長)と町商工会(呉屋定子会長)の主催。

懇談会には約九十人が参加、「文化的なものを活かした町づくりができないか」、「マリンタウンプロジェクトの幹線道路建設により、既存道路の通り会が影響を受けないか」、「工業専用地域の道路整備を」、「土地の法的規制を緩やかにできないか」などの活発な意見交換を行いました。

また、紅いもによる町おこしに成功した西平朝吉氏(読谷村商工会事務局長)による「商工会の地域づくりに果たす役割」をテーマとした講演も行われ、参加者らはメモを取るなど熱心に聴き入っていました。



「被災地の復興を願って」集めた義援金を贈呈した西原南小学校の児童代表たち

町内各小中学校が兵庫県南部地震 (阪神大震災)の義援金を贈る

一月二十七日午後、西原南小学校(宮城義昇校長)の児童六人が宮城校長らとともに町役場を訪れ、兵庫県南部地震への義援金を贈りました。

南小学校の児童を代表して真喜志聡子さん(六年)は「一月十七日の兵庫県南部地震でたくさんの人が亡くなったり、家を失ったりといった大きな

被害があり、いまでも食料不足などで苦しんでいると聞きました。そこで私たちにも何かできることをと考え、全校生徒に募金を呼びかけました」と話してくれました。これに対し平安恒政町長は「地震災害のニュースに接して、自分から進んで行動したことは素晴らしいことです。今、町全

体でも義援金を募る取り組みをしています。みなさんの善意を無にしないよう、町民からの義援金とともに日本赤十字社県支部を通して、一日も早く被災地が復興できるよう役立てていきたい」とお礼の言葉を述べました。

また、町内各小中学校でも同様の取り組みがなされ、百万円余りの義援金が集められました。

市で、約六千人が参加して収集作業が行われました。参加者らは、平和祈念公園(糸満市摩文仁)で開催された集会に臨んだ後、指定された収骨場所での班長の指示に従い作業しました。

予防接種が起因 の事故は任せて

町予防接種健康被害調査委員会委員への委嘱状交付式が、二月一日午後、町内の催事場で行われました。

推薦する医師、町予防接種担当医師など七人で、委員の任期は二年。今回は、委員の任期切れに伴い行われたもので、全委員とも再任。

なお、委員は次の通りです(敬称略)。

▽委員長・新垣善一(中部地区医師会会長)▽副委員長・大宜見義夫(町予防接種担当医)▽我喜屋重光(中部地区医師会理事)▽島袋直哉(沖縄県立南部病院)▽太田計(町予防接種担当医)▽小川良夫(町助役)

予防接種に起因した事故の原因調査及び必要な措置に関する事項について調査及び審議します。

委員は、中部地区医師会が

“遺骨は語る、終わらない戦後”

～沖縄戦終結50周年記念県民遺骨収集～



戦没者の御霊を弔おうと行われた県民遺骨収集

沖縄戦終結五十周年の節目に、今なお山野に眠る戦没者の遺骨を県民の手で一柱でも多く収

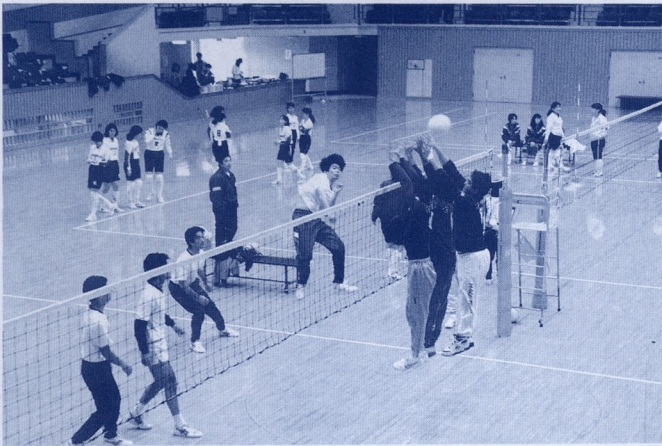
骨し、戦没者の御霊を弔おうと、『沖縄戦終結五十周年記念県民遺骨収集』が、一月十二日、沖縄県主催により行われました。

糸満市をメインに、具志頭村、玉城村、与那城町、名護

市で、約六千人が参加して収集作業が行われました。参加者らは、平和祈念公園(糸満市摩文仁)で開催された集会に臨んだ後、指定された収骨場所での班長の指示に従い作業しました。

作業により人骨(一部)や不発弾(手榴弾)、赤くさびた兵士のヘルメットなどが収集されました。

各地から収骨された人骨は、平和祈念公園に集められ、収集活動した人々も参加して、合同慰霊祭を行い、御霊を弔いました。



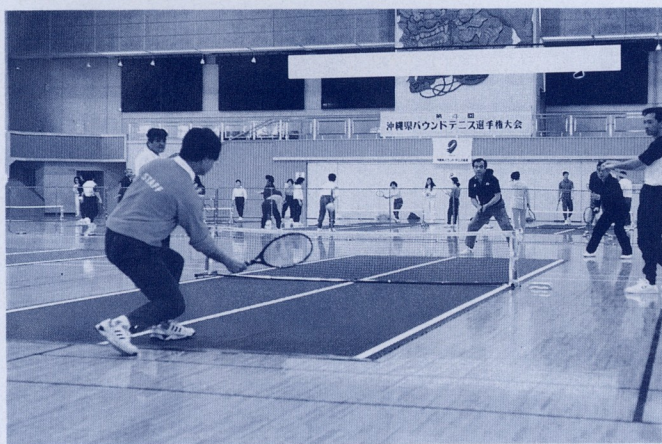
職域バレーボール大会を開催

西原町バレーボール協会(平安恒政会長)主催による第2回町職域9人制バレーボール大会が、2月5日、町民体育館で行われました。

男子A・B、女子ブロックに分かれ、11チームが参加して、日ごろの練習の成果と技を競い合いました。

今回は、参加チーム数が少なかったものの、本町のバレーボール競技のレベルの高さを示す好プレーが各コートでみられました。なお、大会結果は次のとおり。

【男子Aブロック】▽1位・西原町役場▽2位・カットハウスアダム&イブ▽3位・与那嶺重機【男子Bブロック】▽1位・守礼の里▽2位・前里ホンダ▽3位・西原浄水場▽4位・共同交通【女子ブロック】▽1位・新栄設備工業▽2位・沖縄神洋ペイント▽3位・光産業▽4位・コープ沖縄



各コートで熱戦を展開

県バウンドテニス協会(崎原孫佳会長)主催による第4回県バウンドテニス選手権大会が、1月29日、町民体育館で開催されました。

なお、大会結果は次の通り(各種目1位のみ)。

【ダブルス】▽一般男子Aー神元将伸・山城昌博(スワローズ)▽一般男子Bー佐渡山茂夫・島袋亀次(真砂子会)▽一般女子ー名嘉真モモヨ・伊波美奈子(宜野湾はごろも)▽女子シニアー諸見里史子・久場稲子(与那原ひまわり)【シングルス】▽一般男子Aー山城昌博(スワローズ)▽一般男子Bー新川高志(西原ヤッターズ)▽一般女子ー名嘉真モモヨ(宜野湾はごろも)▽女子シニアー山田恵美子(具志川わかば)



平成6年度町少年剣道・なぎなた大会

町体育協会(野島英秀会長)主催による平成6年度町少年剣道・なぎなた大会が、2月5日、西原小学校体育館で開催されました。

これは、剣道やなぎなたを修練している小・中学生が、日頃の練習の成果を競いつつお互いの交流と親睦を深めながら健全な心身の育成を図ろうというもの。

大会には、少年・少女剣士たち50人が参加し、熱気あふれる気合の入った演技、競技を展開しました。

なお、大会結果は次の通り(各種目1位のみ)。

《第14回町少年剣道大会》【初心者】石川晴樹(前田小1)、宮城耶真人(東小3)【初級者】宮里勇輝(東小3)、万里崎めい子(西小2)、仲外拓(琉小1)【基本競技】1位・小渡善旬(東小4)【小学生個人】1位・小渡善旬(東小4)【中学生個人】1位・平良智之(西中2)【小学生団体】1位・西原東小学校

《第11回町なぎなた大会》【演技競技】1位・玉城なつみ・仲松千明【試合競技】[団体戦]1位・Dチーム(當真彩、小橋川奈代、呉屋早月、知花翔子、長嶺憲人)【敢闘賞】伊芸梓【演技の部(発声賞)】新垣智佳子【基本打ちの部】末吉梓、宮平ゆかり





宮城真正さんが町人材育成会へ50万円寄付

宮城真正さん（宜野湾市在）が、2月3日午後、町長室で、町人材育成会（平安恒政会長）に対し、50万円を寄付しました。

宮城さんは「定年退職の記念として長年勤めた南西石油㈱のある西原町のお役に立てればと思い、妻と相談して、これからの町を担う若い人たちの人材育成のために寄付しました。25年と2ヶ月もの間勤め続けられたのも、関係者、地域住民のおかげです」と述べました。平安会長は「子どもたち、若い人材の育成のため、有効に使わせていただきます。ありがとうございました」とお礼を述べました。

西原小で学校給食試食会

全国学校給食週間（1月24日から1月30日まで）に先立ち西原小学校（宮里政和校長）では、1月20日、同校体育館で学校給食試食会が行われました。

1年生全クラス（4クラス、140人）とPTA役員や父母ら約70人が参加しました。

あいさつの中で平安恒政町長は「おとうさん、おかあさんには、子どもたちが日ごろ食べている学校給食を実際に食べられるよい機会。子どもたちのために、学校給食共同調理場の職員が栄養のバランスを考え、一生懸命調理しています。給食についての要望があればどんどん意見してほしい」と述べました。

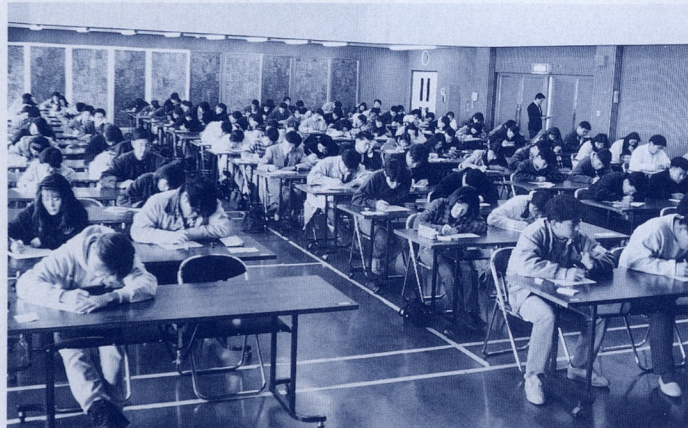


狭き門を目指し189人が受験

平成7年度西原町職員採用試験が、1月29日、町中央公民館で行われ、若干名の採用に189人が受験しました。

各職種ごとに、午前は教養試験、午後は作文試験、事務適性検査、専門試験などに挑みました。不況による雇用情勢を反映し、各職種とも昨年よりいっそう狭き門となりました。

「教養試験とはいえ、難しかった」、「作文は苦手。一次試験が通れば、二次試験で挽回したい」と語る受験生もいました。



町教育委員会が、文部大臣表彰される

町教育委員会（稲福恭助教育長）は、2月1日付で、平成6年度文部省調査統計功績表彰されました。

これは、「平成6年度地方教育費及び地方教育行政調査の実施」での功績が認められたもので、県内からは2つの教育委員会が受賞しました。

本町教育委員会は、平成5年2月にも「平成3年度教育の国際交流等に関する実態調査の実施について」で文部大臣表彰を受けており、今回が2回目。

稲福教育長は「このような表彰を2回受賞するのは減多にないこと。職員全員の努力とチームワークの賜物であり、大変うれしい」と喜びを述べていました。





青少年の問題行動についての現状と今後の対策が話しあわれた町青少年協賛緊急役員会のもよう

ストップ・ザ・いじめ!

——町青少協が緊急役員会を開催——

本音で話し合おう「問題行動」
なにが問題行動なのか、
なぜ問題行動なのか!

二月七日午前、町役場二階大会議室で、町青少年健全育成協議会(平安恒政会長)の緊急役員会が開催されました。

これは、他県において、いじめを苦にしたと思われる生徒の痛ましい自殺事件が相次ぎ、全国的に深刻な社会問題になっていることを受け、本町でも対応を話し合おうと開かれたもので役員二十名余りが参加しました。

中頭郡の調査結果等と併せて、町内の小・中学校の児童生徒の問題行動等やその調査結果についての報告がありました。それによると、町内児童生徒の問題行動として、金銭恐喝やことばによるいじめ、喫煙、怠学などがあります。特に金銭恐喝は、上級生が下級生を、中学生が小学生を、というように弱い立場のものに対して行われる傾向があります。また、学年が上がるに連れて加害児童生徒数が増えているという報告もありました。

「問題行動をとる児童生徒はその親自身に問題があるケースがほとんどであり、親への対応も必要である」、「教師が鋭いアンテナを持って発見することが肝要」、「子どもと教師、父母の信頼関係がなにより大事。良いことを見つけた努力をしていく」、「青少年の問題行動を見つめぬふりをする大人もいる。もっと問題意識を持って注意してほしい」などたくさんの意見要望が語られました。

対策として、「地域を網羅する団体を組織して、地域や子どもたちのリーダーを育成してはどうか」、「現在、地域や家庭、学校にある各機関が協力して、チラシ配布やパトロールを行い、各家庭や地域で話し合う場を設けてはどうか」などが話し合われました。



一緒に語りあい、協力しあって問題の解決をしてみませんか

＝ 西原町教育相談室 ＝

時代とともに子どもたちを取り巻く環境は大きく変わり、子どもたちは、テレビ、ラジオ、週刊誌、レンタルビデオ、ゲーム機、自動販売機など様々なメディアから影響を受けています。

それに伴い、反抗、わがまま、金銭乱費、深夜徘徊、無断外泊、家出、飲酒、喫煙、シンナー吸引、神経症的登校拒否や怠学による不登校など、子ども自身も含め親を苦しめ、教師を悩ませている事例は増加傾向にあります。

本町相談室も、このような行動に対し、親や教師、他の専門機関との連携を密にしながら、その解決に取り組んで参りました。親の理解と協力もあって、平成6年4月から平成7年1月現在で、相談件数24件のうち14件が解決し、10件が継続指導という成果をあげています。

親御さんは、大変悩みなながらも相談には消極的、遠慮がちなところがあります。どうぞ心の負担を打ち明けていただき、少しでも問題解決へのお手伝いができればとお待ちしています。

町教育相談員一同

1. 相談日時……毎週、月・水・金の14:00～18:00
2. 相談場所……西原町教育相談室(町水道庁舎2階)
電話 945-3655(内線 510)
3. 相談員……城間周一・野島英秀・屋良恵子
※電話相談にも応じます。

西原町囲碁大会について

ちよっと
お知らせ

1. 日 時: 平成7年4月2日(日) 午前9時
2. 場 所: 西原町社会福祉センター
3. 主 催: 西原町囲碁同好会
4. 後 援: 西原町社会福祉協議会
5. 申し込み及び問い合わせ先
西原町保健衛生課 ☎945-5013(平良)
西原町社会福祉協議会 ☎945-3651
6. 申し込みメ切り 平成7年3月31日(金) 午後5時
7. 参加資格 町内に住所を有するもの及び町内の事業所に勤務しているもので9級以上
8. 会 費 2,000円

【交通安全アピール】

守ろう交通ルール 考えよう交通安全

今年に入って、交通死亡事故が多発しております。

浦添警察署管内でも既に2名の方が亡くなっており、(1月27日には西原町内でもひき逃げ事故がありました。)

●全国的な死亡事故の特徴として

- 20歳以下の若者による事故
- 夜間における事故
- 交通3悪による事故
- 歩行者を被害者とする事故

が挙げられます。

町民一人ひとりが、今一度『交通安全』について考えてみましょう。



▲早速、中間答申された「カルチャーパーク整備の基本的な考え方(基本方針)」に目を通す

人と自然が調和した

“文教のまち西原”づくりを

町カルチャーパーク構想で中間答申――

町カルチャーパーク構想検討委員会(真栄城守定委員長)は、二月九日午後、町長室で、平安恒政町長に対し、同構想に関してカルチャーパーク整備の基本的な考え方へ基本方針を中間答申しました。

真栄城委員長は「同委員会では、平成六年二月二十四日の第一回検討委員会から五回にわたり委員会を開催、本年度中に基本方針を中間答申し、平成七年度中にこの基本方針

に基づく構想案の検討に入り、最終答申を行うことになりました」とこれまでの経過を説明、「同(基本方針)」を平安町長に手渡ししました。

平安町長は「この中間答申をふまえ、町としてどのように取り組んでいくか十分検討を加え、事業の手法、制度の活用など県関係部局と調整

していきたい」と述べました。

『同(基本方針)』では「文教のまち西原“づくりの核としての施設・緑地の保全と活用・ライフスタイルの変化への対応・長寿社会への対応」といった「町カルチャーパーク整備の必要性」、野外活動ゾーン・親水ゾーン・文化(文教)ゾーン・歴史(史跡・御嶽)ルートなどの設定を提示した「土地利用計画」、「位置」、「名称」の四つの項目についてまとめられています。

西原保育所が発表会

「おとうさん、おかあさん、見て。こんなことが出来るようになったよ」と、二月四日、町社会福祉センターで、西原保育所(添盛初子所長)の第十七回発表会がありました。

年少組の子どもたちは緊張ぎみに、年長組の子どもたちは堂々と、おゆうぎやリズム遊び、ダンスなどを披露しました。

会場では、わが子の晴れ姿をカメラやビデオカメラに撮る親たちもたくさん見受けられました。

また、坂田保育所(寄川美智子所長)でも一月二十一日に発表会を開き、おとうさん、おかあさんらの声援を受けて、一生懸命がんばりました。



▲発表会のフィナーレは、みんなそろっておゆうぎを披露

善意よ届け、被災地に

西原町から287万円余を日赤へ

「町民みんなの善意です。どうぞ災害復興にお役立てください」と、平安恒政町長は、二月七日午後、日本赤十字社支部(成底哲事務局長)を訪問し、全町民からの善意二百八十七万八千二百四円を贈呈しました。

平安町長は「学校関係、町内各種団体、個人、自治会、

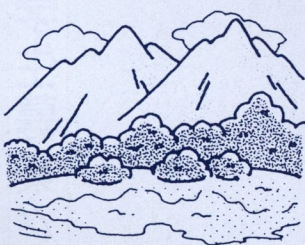


▲町民の善意287万円余が、平安町長から成底日赤支部事務局長に手渡されました。

町役場職員など文字通り全町民からの被災者たちを思う気持ちです。一日も早い復興を願っています。」と述べました。

これに対し、成底事務局長は「被災地の復興を願う西原町民の善意、ありがとうございます。今回は、全国的にも、これまでに増して、人情、善意を感じます」と感謝の言葉を述べていました。

成底事務局長によると、日本赤十字社本社の受付分で、二百五億円(二月五日現在)もの義援金があり、このぶんだと全体では、六百億円を越えそうということです。



国土緑化キャンペーン

平成7年度 国民健康保険者証(手帳)のきりかえについて

あなたが、現在お持ちになっている国民健康保険手帳は、3月31日までしか使用できません。4月からは、新しい保険手帳でないと受診できませんので、次のとおり新しい保険手帳に切り替えて下さい。

記

場 所：西原町役場 国民健康保険課窓口

時 間：午前9時から午後4時まで

持参するもの

1. 現在使っている国民健康保険手帳
2. 印鑑
3. 在学(園)証明書(㊟の手帳を持っている世帯)

注意事項

1. 保険税未納の方は、あわせて納めて下さい。(平成6年度分まで)
2. 平成7年度の所得申告をしていない方は税務課で申告をしてから保険手帳の切り替えをして下さい。収入のなかった方についても申告が必要です。
3. 国民健康保険と職場の健康保険の両方に加入している方がおりましたら職場の保険手帳も持参して下さい。
4. 国民健康保険に加入している世帯で、既に転出や転居(住所変更)している方がおられる場合には国民健康保険課の窓口で届出をして下さい。

【切り替え日程】

3月13日(月)	幸地、幸地ハイツ、幸地高層住宅、棚原
3月14日(火)	徳佐田、森川、千原、上原、坂田
3月15日(水)	翁長、呉屋、津花波、西原台団地、小橋川、内間
3月16日(木)	内間団地、掛保久、嘉手苅、小那覇
3月17日(金)	平園、兼久、与那城
3月20日(月)	美咲、我謝
3月22日(水)	西原ハイツ、安室、桃原、池田
3月23日(木)	小波津、小波津団地、西原団地

お知らせ
でーびる



案内・募集
3月

水難事故防止ポスター及び標語募集公告

1. 募集の趣旨

水難事故防止のポスター及び標語を募集することによって、水難事故防止の意識を高めるとともに、夏期(6月～8月)に多発する水難事故防止を県民をはじめ広く県内外にアピールする。

2. 募集期間及び受付場所

- (1) 募集期間
平成7年2月1日(休)～平成7年3月31日(金)まで
- (2) 受付場所
浦添警察署地域課

3. 応募要領

- (1) 作品は、水難事故を防止し、マリンスポーツの事故防止を表現したもので、未発表のもの。
- (2) 用紙の企画
ア ポスター
四つ切り(画用紙53.5×38センチ)の縦書きで、「水難事故防止」等の文字は入れない。
イ 標 語
用紙の企画については、制限しません。ただし郵送の場合は、官製はがきに限りません。
- ウ 作品の裏面に作者の住所・職業(児童生徒の場合は、学校名・学年)・氏名・性別・年令・連絡先を明記して下さい。

4. 賞品(図書券)

- (1) ポスターの部
1位：1万円相当 2位：7千円相当 3位：5千円相当

5. その他

応募作品の著作権は沖縄県警察本部に帰属し、作品は返還致しません。

沖 縄 県 警 察 本 部
浦 添 警 察 署

*問い合わせ 浦添警察署 地域課指導係 ☎875-0110 (内線282)

日本育英会奨学生募集!!

一、日本育英会は、日本育英会法に基づいて設立された国の育英奨学事業を行っている機関です。(各都道府県教育庁内に県支部があります。)

二、奨学金の種類、対象、締切り

(一) 高等学校奨学生 在学一次採用

高等学校：全学年対象 支部締切：五月中旬

(二) 平成八年度 高校・高専奨学生候補者

中学校三年生対象 支部締切：五月末

(三) 平成八年度 大学第一種奨学生候補者

高校三年生、定時四年生 支部締切：六月上旬

三、貸与月額 奨学金は貸与です。毎月本人の銀行口座に振込まれます。

国・公立高校：一三、〇〇〇円

私立：二五、〇〇〇円

四、返還方法 卒業後、約九年間年賦(年一回)で返還します(無利子。)

五、申込先 在籍する高等学校、中学校の学級担任の先生。

六、詳しいことは、県教育庁内の日本育英会沖縄県支部

(☎〇九八八六四一五二七二)

〒九〇〇 那覇市泉崎一〇二二(県庁十三階教育庁内)または、

各学校の奨学係の先生にお尋ね下さい。

第11回 西原町生涯学習振興大会

●大会テーマ 「これからの西原町の生涯学習のあり方を求めて」

- 趣 旨：西原町は、文教のまちとして日進月歩の勢いで変貌しつつある。今地域に根ざした生涯学習の諸問題についてみんなで話し合い各種団体の連携を深めることが重要である。そこで、“いつでも、どこでも、だれでも”自主的・主体的に学べる生涯学習まちづくりをめざすことを目的とする。

●期 日：平成7年3月18日(土) 12:00～17:00

●会 場：西原町中央公民館

●主 催：西原町教育委員会

●後 援：西原町・町地域ぐるみ基礎学力向上推進協議会・町婦人連合会・町PTA連絡協議会・町子ども会育成連絡協議会・町スポーツ少年団・町体育協会・町青少年健全育成協議会・町社会福祉協議会・町老人クラブ連合会・町民生委員協議会・町文化協会・町事務担当者会・町保護司会・町更生保護婦人会・町母子寡婦福祉会・町心身障害児(者)を育てる会 (※お問い合わせ先：町教育委員会 生涯学習課 ☎945-3655[内線504])

【日程】

時 間	行 事	内 容
12:00	受付(ホール入口)	
12:15	ビデオ放映	“新しい自分との出会い”
13:00	開会行事	*主催者あいさつ *来賓あいさつ *表 彰
13:30	パネルフォーラム テーマ 『生涯学習社会における 地域活性化と ボランティア活動』	コーディネーター 西原 篤一(興南高校JRCインターアクト顧問) パネリスト 宮城 佳奈(西原高等学校3年生) 体験の中から学んだボランティア 与那嶺絹子(西原町婦人連合会長) 会活動をささげるボランティアの心 屋宜宣太郎(町子連民踊サークル会長) 子どもたちと共に育むボランティアの和 米須 清順(西原FC父母会会長) 心のストローはボランティアのやさしい心から 澤岬 吉照(西原町社会福祉協議会) 行政と住民とのボランティアというかけ橋 助言者 玉城 政光(西原町社会教育委員議長) 記録者 羽地 明美(西原南小学校PTA役員)・宣志富由枝(坂田小学校PTA役員)
15:40	記念講演	講師 新城 信子先生(沖縄コロニーセンター職員)
16:50	『人と人とのハーモニー』	
17:00	閉会行事	*閉会のあいさつ

“みんな集まれ！公民館まつりだよ～”

——公民館での日ごろの活動成果を発表します——

■主催 西原町教育委員会

■場所 西原町中央公民館

【プログラム】

3月4日(土)		3月5日(日)	
《展示の部》	10:00～18:00 生け花・手芸 英会話サークル	《紙芝居》	10:30～12:00(視聴覚室) 「春がくるまで」外話など読書サークル
《映画上映会》	13:30～15:50(入場料300円) 『かんからさんしん』アニメーション	《展示の部》	10:00～17:00
《舞台の部》	15:00～17:00(子どもの部) 子どもさんしん・子ども琉舞・子ども会民踊サークル	《舞台の部》	14:00～17:00(おとなの部) 琉舞・民踊・獅子舞・さんしん フォークダンス・コーラス 紙芝居(しらゆきひめ)英語・中国語版

※3月5日(日)は屋台コーナー(カレーライス、コーヒーセット、中国家庭料理)もあるよ！
町民の皆様のご来場をお待ちしています！！

※お問い合わせ先：町中央公民館 ☎945-3657

住民票における
世帯主との続柄の
記載が変わります！

平成7年
3月1日
から

「住民基本台帳事務処理要領」の一部改正により、住民票における世帯主との続柄の記載方法が平成7年3月1日より改正されます。

住民票における世帯主との続柄の記載例

区 分	改 正 前	改 正 後
嫡出子	長男、二女等	子
特別養子	長男、二女等	子
養子	養子	子
嫡出でない子(世帯主である父に認知されている場合)	子	子
嫡出でない子(世帯主である父に認知されていない場合)	妻(未届)の子	同左
妻の連れ子(世帯主が夫である場合)	妻の長男、二女等	妻の子
夫の連れ子(世帯主が妻である場合)	夫の長男、二女等	夫の子
事実上の養子	縁故者	同左

ご家庭や事業主のみなさんへ

「手軽に仕事(人手)を頼めるところがあれば…」と思われたことはありませんか？

——シルバー人材センターとは——

高齢化社会が進むにつれ、定年で仕事をやめたり家庭の雑事から解放されたりして在宅している高齢者が増えています。シルバー人材センターは、このような方々のうち「生きがい」や「健康」などのため、もう一度各自の体力に見合った仕事に従事し、社会参加をしようと集った高齢者の団体です。

●会員になるには 社団法人 西原町 シルバー人材センターは知事指定の公益法人です。

※西原にお住いの、おおむね60歳以上の方で働くことによって自らの健康と生きがいを求める健康な方でしたらどなたでも会員になれます。

手続きは… 会員になるための特別な資格やむずかしい手続きはいりません。会則(定款)にしたがってきめられた入会申込書を提出すれば会員になります。

会費は… 会員となったみなさんが総会で決めた額を年会費(2,000円程度)として納めていただきます。この会費は、会員の福利厚生や補償保険の保険料、シルバー人材センターの運営費にあてます。

仕事は… 会員は、あらかじめ自分の希望する仕事を登録しておき、センターからの連絡をうけた仕事の中から、自分で選んで働きます。主に臨時、短期的な仕事です。

働いたお金(配分金)は… 自分が従事した仕事に応じて、センターから月毎に配分金の支払を受けます。

●たとえば会員はこんな仕事をしています。

* 野外の軽易な作業

庭の清掃、除草、芝生の手入れ、後かたづけ、軽い作業、キビ出し(枯葉取り等)作業

* 技 能

大工仕事、左官、植木のせん定、襖・障子張り

* 一般事務、筆記、毛筆、筆耕など

封筒やはがきの宛名書、経理事務

●仕事の依頼や

会員希望の問い合わせは 社団法人 西原町 シルバー人材センター ☎944-1699

3月(MAR.)行事・祭事予定

- 1日(水)○住民票における世帯主と続柄の記載方法が改正
 ○離乳食実習(乳児、13:30、町中央公民館)
 ○心配ごと相談 14:00～17:00(8日、15日、22日、社会福祉センター)
 ○青年学級(19:00、町民陸上競技場)
- 3日(金)○町社協食事サービス(10日、17日、24日、13:00～16:00、社会福祉センター)
 ○カンガルー学級(10:00、町中央公民館)
- 4日(土)○公民館まつり(展示の部-10:00、映画上映(かんからさんしん、入場料¥300)-13:30、舞台発表-15:00、~5日)
- 5日(日)○公民館まつり(展示の部-10:00、舞台発表-14:00)
 ○乳児一般健診(H6.9.18～H6.12.5生まれ、9:00～10:00、13:00～14:00 H6.3.18～H6.6.5生まれ、社会福祉センター)
 ○第7回海邦国体記念バスケットボール大会(9:00、町民体育館、西原高等学校体育館、西原中学校体育館、西原東中学校体育館、12日、19日)
- 8日(水)○青年学級(19:00、町中央公民館)
 9日(木)○DPT(24カ月～66カ月児、13:30～13:45、町中央公民館)
 10日(金)○カンガルー学級(親子ピクニック、10:00、町中央公民館集合)
 12日(日)○歌碑巡り(8:30、町中央公民館集合)
 ○第4回愛泉園春まつり(11:00、町中央公民館)
- 13日(月)○3歳児健診(H3.11.8～H3.12.6生まれ、13:30～14:15、社会福祉センター)
- 14日(火)○国際交流講演会「国際理解教育の意義」(仮題)(15:00、沖縄キリスト教短期大学チャペル)
- 16日(木)○電話加入権の公売(14:00、町役場2階大会議室)
 ○1歳6カ月児健診(H5.8.25～H5.9.16生まれ、13:30～14:15、町中央公民館)
- 17日(金)○町立幼稚園修了式
 18日(土)○第11回町生涯学習振興大会(12:00、町中央公民館)
 21日(火)○春分の日
 ○青年学級(城跡巡り、8:30、町中央公民館集合)
- 22日(水)○町立中学校卒業式
 23日(木)○町立小学校卒業式
 24日(金)○町立小・中学校修了式
 25日(土)○青年学級(閉級式、19:00、町中央公民館)
 27日(月)○西原保育所、坂田保育所卒園式
- ※都合により日程変更もあります。

寄付・香典返し

(ありがたいございました)

▽宜野湾市字新城一の三の十一番地、宮城真正さんが、退職記念として町人材育成会へ五十万円。

▽字津花波百八十番地の二、呉屋悦子さんが、故夫盛次さんの香典返しとして町人材育成会へ五万円、町社会福祉協議会へ五万円。

▽字小橋川三十二番地、宮城良光さんが、故父良信さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ五万円。

▽字内間四百三十八番地の二、ホトスパー内間店(オーナー 呉屋善勝)が、店内設置の募金箱への一般寄付を、町内の障害者福祉に役立てて下さいと町社会福祉センター内のはばたき共同作業所へ一万円。

阪神大震災の義援金

(ありがたいございました)
 三百二十万一千三百三十四円
 (平成七年二月八日現在)

おわびと訂正

先月号で次のような誤りがありましたので、おわびして訂正します。

▽五面「婦人防火クラブ結成」の記事「会長仲宗根好良」は「会長仲宗根好美」の誤り。
 ▽七面「城間盛安氏が町監査委員に」の記事で「任期二年」は「任期四年」の誤り。

第4回愛泉園春まつり(文化祭)のご案内

愛泉園の園生たちの作品や舞台発表を広く町民及び関係者に披露し、知的障害者の福祉増進に寄与することを目的として第4回愛泉園春まつり(文化祭)を開催します。

記

開催日時:平成7年3月12日(日) 午前11時から午後4時

開催場所:西原町中央公民館

テーマ:今、新たな広がりを求めて

内容:舞台発表、作品展示、町郷土芸能、園芸作物即売、バザー等。

電話加入権の公売

町税徴収と滞納町税の円満な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

公売実施日

平成7年3月16日(木) 午後2時

西原町役場2階大会議室

※印鑑(認印)を持参して下さい。

詳しいことは、西原町役場税務課へ

☎945-4729 (内線143)

桃源郷



東洋人が夢見た理想の仙境は、三月ごろに咲く桃の花と結びついています。中国晋代の詩人・陶淵明の「桃花源記」に描かれた「桃源」「桃源郷」は、川上の奥に存在した別天地でした。

武陵の漁夫が道に迷って入ったその桃源郷には、秦代の戦乱を避けた人々の子孫が、良い田や美しい池のある平和な山村で「自ら楽しむ」生活を送っていたのです。

桃源郷よりも古い理想社会のイメージは「無何有の郷」で、戦国時代の思想家・莊周の著「莊子」に出てきます。莊周は、何も無い「広漠の野」に一本の大樹を植え、その下でのんびりと何もせずに寝そべって過ごす「無用の用」を説きました。「何有」は「何か有らん」で、何も無い無作為の状態を意味します。

西欧では、十六世紀のイギリスの政治家トマス・モアが、空想社会小説「ユートピア」で、平和的共産制の理想国を描きました。「ユートピア」は、ギリシャ語のウー(ない)とトポス(ところ)からきた言葉で、「無何有の郷」と語源が似ているところに興味が引かれます。